YMCAの願い ＜シリーズ＞④

ボランティア精神とリーダーシップを身につけること

副総主事　石原　福造

YMCAの幼児体育教室での出来事です。

子どもたちはリズム体操、リーダーと入り乱れての鬼ごっこ遊び、マット、跳び箱、体育器具を使ったサーキット遊びなどをしていました。その活動中、子どもたちは、転んだり、高いところから飛び降りたり、いろいろな体育遊びにチャレンジし、時にはこけてケガをします。YMCAではよく見かける光景ですが、ケガした子どもを中心に他の子どもたちは、「痛い?」「大丈夫?」「リーダー早く来て!」といった具合に、幼いながら一生懸命「一緒に喜び悲しむ」ことを表現します。ケガをして痛がっている友達のその痛みを自然に共有するのです。

しかし、大人はどうでしょう。痛がっている子どもよりも先ず、自分の「責任」を感じ、処置のために右往左往して、子どもが取り残されているという状況を見かけることがあります。

先ずケガをした子どもに歩み寄って「痛いよね」と共感することで、傷ついている子どもは安心し、ケガそのものを受け止めることができるのです。子どもの痛みを感じ、そして安心させる、そこから新しい関わりが始まっていきます。

YMCAの活動は、他者に対する思いやりと慈しみ、すなわち「隣人愛」の実践であり、ボランティア精神が表現されています。

ヨハネによる福音書の13章に「イエスさまが弟子の足を洗い、イエスさまが関わりを持ってくださったから、お互いに足を洗うべきだ」と記されています。このような関わりこそボランタリーな行いであると言えます。

プログラムの中で状況に応じて、多様な役割を子どもたちが担うことでリーダーシップが育まれていきます。そして、このような場面ではいつも子どもたちの自発的で見返りを求めないボランティア精神を見ることができるのです。

YMCAの願い

YMCAでは活動をとおして次のことを学びます。

1．自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること
2．家族、地域のひとりとして責任があること
3．世界と地球を見つめ、考え、行動すること
4．ボランティア精神とリーダーシップを身につけること
5．すこやかな心とからだを育むこと

これらを実現するために「思いやり」「誠実さ」「責任感」「尊敬心」をすべての場面で大切にします。

・・・・・・東西南北・・・東西南北・・・東西南北・・・東西南北・・・東西南北・・・・・・

教育を共に考える集い

◇◇国際専門学校◇◇

11月、大阪YMCA会館にて「教育を共に考える集い」を開催しました。この催しは大阪YMCAの通信制高校と国際専門学校高等課程3校合同で例年行っているもので、毎回話題となっているテーマについて講師をお招きしています。

11日（土）には岐阜大学医学部助教授で精神科医の高岡　健先生に「その子にあった出会いを求め―不登校を考える―」という題で講演頂きました。122名の参加があり、いじめや不登校問題に対する先生の的確な指摘や対処方法に、また子どもの立場に立った温かい視点からの発言に参加者は熱心に耳を傾けていました。また関西のフリースクールのブース設置があり、講演後に多数の方が個別相談を受けていました。

今回初の試みでしたが、会場は熱気にあふれ、参加した保護者の方からも感謝の声を頂きました。

25日（土）には児童文学翻訳家・評論家で青山女子短期大学教授の清水真砂子先生をお迎えして「日々いきいきと―学校と子ども―」という題でお話頂きました。71名の来場者があり、教育現場でのご経験から今の学生が考えていること、悩んでいることを、翻訳された『ゲド戦記』のお話も交えながら豊かに語って頂きました。

今後とも多くの方と教育現場が直面している問題を共に考えていく機会になればと次年度も予定しています。

（小林直樹・国際専門学校スタッフ）

第26回「障がい者作品展」開催

◇◇堺ＹＭＣＡ◇◇

今年で26回目を迎える「障がい者作品展」が12月1日（金）から6日（水）まで堺市総合福祉会館にて行われました。

この作品展は障がいを持つ皆様が趣味や技術を生かして制作した作品や、リハビリテーション活動の中で制作した作品を展示することにより、障がい者に対する市民の正しい理解と認識を求めるとともに、障がい者の自立と社会参加への意欲を高めることを目的として毎年開催されており、堺ＹＭＣＡが中心となり、堺市・市内ロータリークラブ・ワイズメンズクラブとの共催、堺市教育委員会・堺商工会議所・堺市社会福祉協議会・堺市身体障害者(児)団体連絡協議会の後援で行われています。

今年も団体、個人合わせて370点あまりの作品が出展されました。どれもこれも力作ぞろいで、思わず見入ってしまうものばかりです。クリスマス関係の作品では、幾つもの三角の折り紙を合わせてツリーを作ったり、ペットボトルのキャップを電球に見立てたりと各団体で色々工夫されていました。

また例年「書」の出展が非常に多く、今年も壁一面の展示となりました。生け花や陶芸作品、染物、織物、レザークラフトで作った時計も飾られています。

毎年この出展の為にと構想を練り、一年掛けて作品作りをされている団体もあります。もう今頃は来年に向けての作品作りが始まっていることでしょう。

この作品展を契機に、今後も、文化・芸術活動を通じて、障がいのある方々の社会参加がより一層図られることを期待いたします。

（小畠英恵・堺ＹＭＣＡスタッフ）

・・・・・・東西南北・・・東西南北・・・東西南北・・・東西南北・・・東西南北・・・・・・

◇◇大阪ＹＭＣＡ◇◇

『２００７年度年間聖句・年間讃美歌』公募のご案内！

大阪ＹＭＣＡ常議員会では、会員大会に提案を行う２００７年度年間聖句・讃美歌を会員の皆様より公募いたします。年間聖句・讃美歌は、大阪ＹＭＣＡに関わる一人ひとりの活動指標となります。皆様からの応募を心よりお待ちしております。

大阪ＹＭＣＡ常議員会
活動推進委員会委員長　牧口　望

【公募基準】
●大阪ＹＭＣＡの使命※1、２００７年度大阪ＹＭＣＡ全体方針※2に則していること
●社会情勢が反映されていること
●日ごろあまりキリスト教に馴染みのない人にとっても受け入れやすいものであること
※１　大阪青年１面上段をご覧ください。
※２　ホームページをご参照ください。（２００７年１月に公開予定）

【対象者】　ボランティアメンバーを含む全会員

【応募締切り】　２００７年２月９日（金）

【応募先】　応募用紙※3に名前、所属ＹＭＣＡ、連絡先など必要事項を明記の上、メール、電話、ＦＡＸ、郵送のいずれかで下記まで応募ください。
※３　大阪青年１・２月号に折込み有。ホームページよりダウンロードも可。あるいは、応募の年間聖句・讃美歌の箇所・番号と選んだ理由をご記入の上、大阪ＹＭＣＡ統括本部まで直接ご応募ください。

大阪ＹＭＣＡ統括本部　担当：蔭山、松野、向谷
住所：〒550-0001　大阪市西区土佐堀１－５－６
TEL：０６（６４４１）０８９４　FAX：０６（６４４５）０２９７
E-mail：info@osakaymca.or.jp

【その他】
●過去の年間聖句、讃美歌は応募用紙の裏面をご参照ください。
●年間聖句・讃美歌は応募された中から常議員会で決定され、２００７年会員大会において報告されます。
●決定された年間聖句・讃美歌の応募者及び選定理由などは大阪青年でご紹介させていただきます。（匿名希望の方はその旨をお知らせください）